

日本国内 自動車解体事業者様向け

駆動用バッテリー取り外しマニュアル 《リチウムイオン バッテリー 車種別編》

※本書と併せて「駆動用バッテリー回収マニュアル
(リチウムイオン バッテリー 共通編)」を必ずお読みください。



シャトル ハイブリッド (GP7・GP8) フレームNo.100、500、510

2022年9月

本田技研工業株式会社

INDEX

1. はじめに	2
2. 駆動用バッテリー高電圧回路作業の注意	3
3. 駆動用バッテリー取り外し作業手順	4
4. フレームNo.の位置	16
高電圧注意標示	巻末

本マニュアルの内容は予告なく変更する場合があります。

1. はじめに

このマニュアルは使用済みハイブリッド自動車廃棄時に、リチウムイオンバッテリーのリサイクルを目的として、リチウムイオンバッテリーの取り外しについて解説するものです。

本マニュアルに記載しているハイブリッド車の駆動用バッテリーにはリチウムイオンバッテリーを使用しています。

リチウムイオンバッテリーの回収方法については、駆動用バッテリー共通の「駆動用バッテリー回収マニュアル(リチウムイオンバッテリー共通編)」がありますので、そちらを必ずお読みください。

リチウムイオンバッテリーは、高電圧かつ重量物のため、本書を熟読の上、安全に作業を行ってください。

また、本作業を含め、高電圧部位を扱う作業を行っていただくにあたっては、事前に労働安全衛生法第59条ならびに労働安全衛生規則第36条により、特別教育の受講が義務付けられています。

駆動用バッテリーは、回収してリサイクルされますので、絶対に廃棄しないでください。「駆動用バッテリー回収マニュアル(リチウムイオンバッテリー共通編)」に従い、ホンダバッテリー回収窓口に連絡し、運送事業者回収してもらってください。

また、以下については「駆動用バッテリー回収マニュアル(リチウムイオンバッテリー共通編)」を熟読の上、作業を開始してください。




- 高電圧回路作業の一般的な警告
- 高電圧回路作業を行う場所についての警告
- 駆動用バッテリー取り扱いおよび保管する場所の警告
- 駆動用バッテリー液漏れ時の対応方法
- 駆動用バッテリー火災時の対応

使用済自動車の再資源化等に関する法律施行規則の一部が改正されました。(第九条第二号)
解体業者による使用済自動車の再資源化に関する基準として、使用済自動車から取り外す必要のある部品にリチウムイオン電池、ニッケル・水素電池が追加されました。

(2012年2月1日から施行)

■安全に関する表示について

※以下のシンボルマークのある項目は、安全に関して特に重要な事項を説明しています。必ずお読みください。

 危険	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの
 警告	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの
 注意	指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

2. 駆動用バッテリー高電圧回路作業の注意

リチウムイオンバッテリー取り外しに用いる備品、装備

作業を始める前に以下の備品・装備を準備して下さい。

- ・ 絶縁工具(EN60900 適合品): T レンチ、トルクスレンチ(T-30)、ソケットレンチ(8mm、10mm、12mm、14mm)、ラチェットハンドル、マイナスドライバ
- ・ 電圧測定器(EN61010 適合品): テスターおよびヒューズ付きリード棒
- ・ 絶縁手袋(EN60900 適合品)



警告

- 必ずパワースイッチをOFFにしてください。

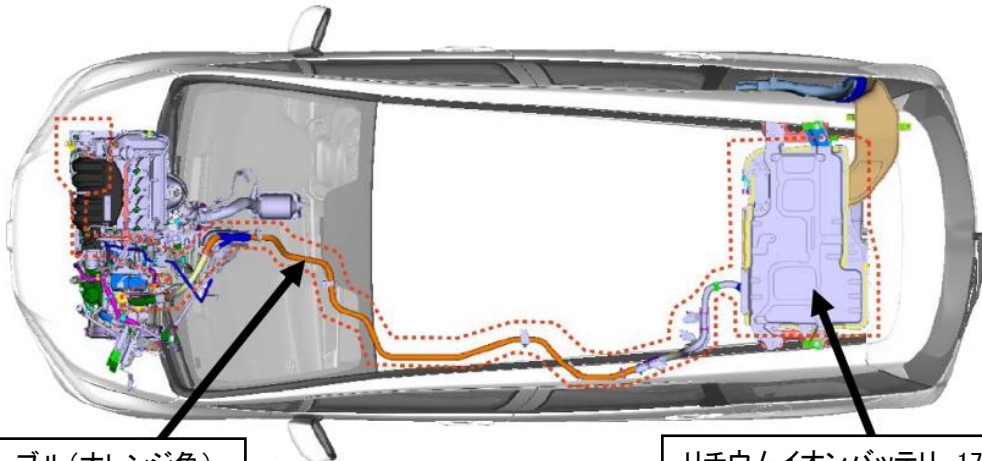
シャトル ハイブリッドは、エンジン停止状態でも走行が可能です。

エンジンが停止していてもパワースイッチがOFFであるとは限りません。作業を行う前に必ずメータ内の表示が全て消灯していることを確認してください。

■ 高電圧部位

シャトル ハイブリッドの高電圧部位は、以下の通りです。

- 高電圧ケーブルには、オレンジ色による識別がしてあります。



高電圧ケーブル(オレンジ色)

リチウムイオンバッテリー 173V以上
(IPU/PCUユニット)



警告

- ・ フロア下側に高電圧ケーブルが配線されています。高電圧ケーブルが破損または切断された場合、配線が露出し高電圧による重度の火傷または感電による重大な傷害や死亡に至るおそれがあります。車両の吊り上げやジャッキアップ時、高電圧ケーブルに物が当たらないようにしてください。

リチウムイオンバッテリー取り外し作業に関してご不明の点および、リチウムイオンバッテリー本体に異音や発熱等の異常がある場合は、下記にお問い合わせください。

本田技研工業(株) お客様相談センター 0120-112010(フリーダイヤル)

受付時間: 9時 ~ 12時 13時 ~ 17時

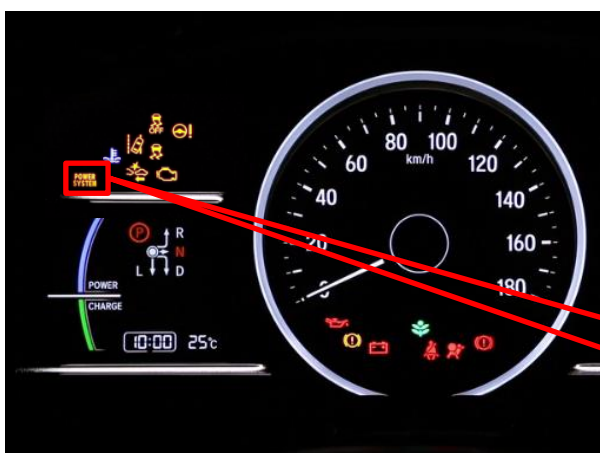
3. 駆動用バッテリー取り外し作業手順

(1) パワーシステム警告灯を確認し、パワースイッチをOFFにする

本車両においては12Vバッテリーを取外す前に 自動車リサイクル法に定められたエアバッグ類の適正処理を実施してください。

1. パワースイッチをONにする。その際、パワーシステム警告灯を確認し、点灯していたら、直ちに作業を中止し、下記に連絡してください。

パワースイッチをONにし、メータパネル内のパワーシステム警告灯が点灯し続ける場合は、ハイブリッドシステムに何らかの異常があります。ハイブリッドシステムは高電圧を使用しています。ハイブリッドシステムに異常がある状態での取り外し作業は、絶対に行わないでください。直ちにパワースイッチをOFFにし、作業を中止して、必ず下記に連絡して指示に従ってください。



本田技研工業(株) お客様相談センター
0120-112010(フリーダイヤル)
受付時間:9時～12時 13時～17時

パワーシステム警告灯

**POWER
SYSTEM**



2. パーキングスイッチを押し、パーキングポジションにする。パワースイッチを約2秒以上長押しをして、OFFにする。

※ 意図しない再始動を防ぐためにも、キーレスリモコンを車から最低でも6メートル離してください。

3. メータ内がすべて消灯していることを確認する。



- パワースイッチOFF後、5分間は作業を行わないでください。

パワースイッチOFF後、コンデンサ等に蓄えられた電荷の放電に約5分かかります。高電圧遮断直後は短絡による発火、発煙、破裂および感電等の恐れがあります。

(2) 使用備品・装備を準備し、12Vバッテリーターミナルを切り離す

※ バッテリー端子は、必ずマイナス(-)端子から切り離す

リチウムイオンバッテリー取り外しに用いる備品、装備

作業を始める前に以下の備品・装備を準備して下さい。

- ・ 絶縁工具 (EN60900 適合品): T レンチ、トルクスレンチ (T-30)、ソケットレンチ (8mm、10mm、12mm、14mm)、ラチェットハンドル、マイナスドライバ
- ・ 電圧測定器 (EN61010 適合品): テスターおよびヒューズ付きリード棒
- ・ 絶縁手袋 (EN60900 適合品)



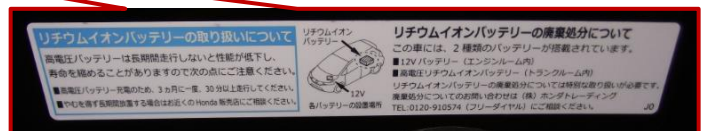
1. 12Vバッテリーのマイナス(-)端子側の接続を外す。



- 12Vバッテリーの接続を外した後、5分間は作業を行わないでください。

12Vバッテリーの接続を外した後、コンデンサ等に蓄えられた電荷の放電に約5分かかります。高電圧遮断直後は短絡による発火、発煙、破裂および感電等の恐れがあります。

【参考】ボンネット裏面には以下のラベルが貼付されています。



リチウムイオンバッテリーについての説明ラベルです。本書の順序に従ってください。

(3) リヤパネルライニングを取り外す



1. カーゴリッドを取り外す。



2. カーゴフロアボードを取り外す。



3. カーゴフロアボックスを取り外す。

(4) カーゴサイドライニングを取り外す



1. リヤパネルライニング及び左右のカーゴサイドライニングを取り外す。

(5) インレットダクトを取り外す



1. IPU冷却インレットダクトを取り外す。

(6) サービスプラグリッドを取り外す



1. メインスイッチカバーのボルト(2ヶ所)を取り外す。



2. メインスイッチカバーを取り外す。

(7) サービスプラグを取り外す



警告

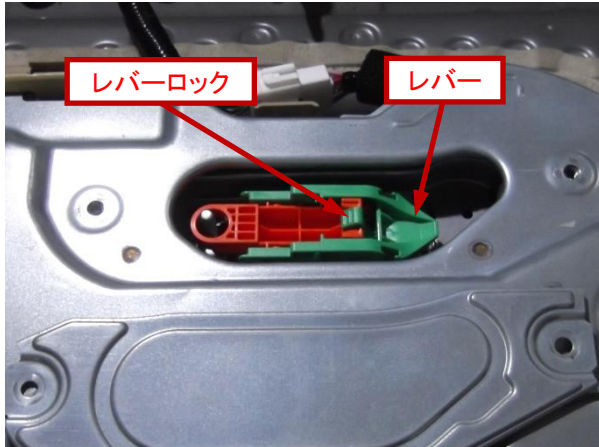
- 規格「EN60900」に適合する絶縁手袋および絶縁工具を使用してください。
リチウムイオンバッテリーの取り外しは高電圧回路の作業を伴うので、短絡による発火、発煙、破裂および感電等の恐れがあります。



- ・ 高電圧部位を含む作業を示します。



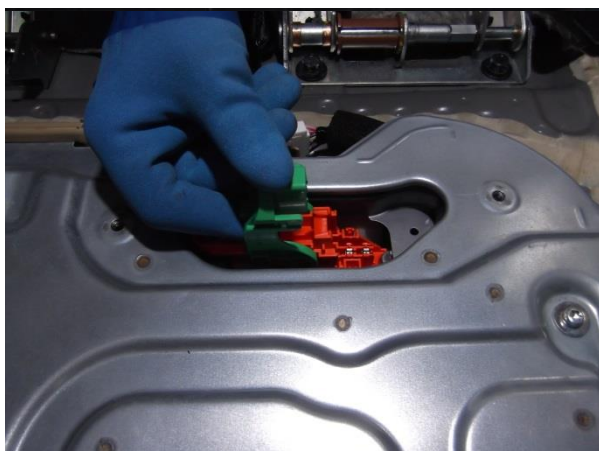
- ・ 絶縁手袋の着用が必要な作業を示します。必ず絶縁手袋を着用してください。



1. レバーロック(緑色の突起)を押込みながら、レバー(緑色)を引き上げる。



2. サービスプラグを引き抜いて外す。





3. サービスプラグを抜いたあとのサービスプラグベースに絶縁テープを貼り、絶縁処理する。



4. 取り外したサービスプラグは、確実にポケットなどに携帯し他の作業者が誤って接続しないようにすること。



警告

- サービスプラグ取り外し後、5分間は作業を行わないでください。
サービスプラグ取り外し後、コンデンサ等に蓄えられた電荷の放電に約5分かかります。高電圧遮断直後は短絡による発火、発煙、破裂および感電等の恐れがあります。

(8) IPUカバーを取り外す



警告

- 規格「EN60900」に適合する絶縁手袋および絶縁工具を使用してください。
リチウムイオンバッテリーの取り外しは高電圧回路の作業を伴うので、短絡による発火、発煙、破裂および感電等の恐れがあります。



- ・ 高電圧部位を含む作業を示します。



- ・ 絶縁手袋の着用が必要な作業を示します。必ず絶縁手袋を着用してください。



1. 固定ボルト(6ヶ所)を取り外す。



2. IPUカバーを取り外す。



- ※ 取り外したIPUカバーは、バッテリー取り外し後に保護カバーとして使用するのので、廃棄しないでください。

(9) ケーブル類の接続を取り外す



警告

- 規格「EN60900」に適合する絶縁手袋および絶縁工具を使用してください。
- 電圧測定は規格「EN61010」に適合するテスターおよびヒューズ付きリード棒を使用してください。

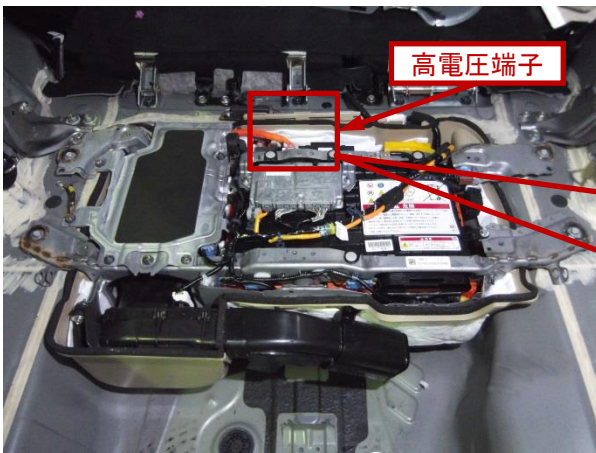
リチウムイオンバッテリーの取り外しは高電圧回路の作業を伴うので、短絡による発火、発煙、破裂および感電等の恐れがあります。



- ・ 高電圧部位を含む作業を示します。



- ・ 絶縁手袋の着用が必要な作業を示します。必ず絶縁手袋を着用してください。



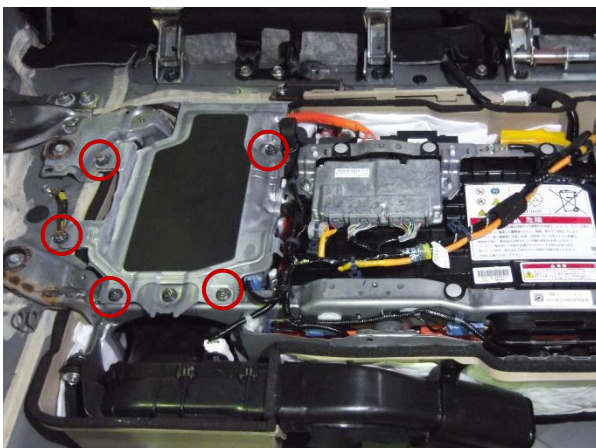
1. 高電圧端子間の電圧を測定し端子電圧が0Vであることを確認する。



警告

- 端子電圧が0Vであることが確認できない等の異常があった場合は、作業を中断し、直ちに本田技研工業(株)お客様相談センター 0120-112010 (フリーダイヤル)までご連絡ください。

サービス プラグ取り外しによっても高電圧が遮断がされていない場合、不用意な作業を行うと、短絡による発火、発煙、破裂および感電等の恐れがあります。



2. ナット(5ヶ所)を取り外しPCUカバーを取り外す。



※ 取り外したPCUカバーは、バッテリー取り外し後に保護カバーとして使用するのので、廃棄しないでください。



警告

- 規格「EN60900」に適合する絶縁手袋および絶縁工具を使用してください。
- 電圧測定は規格「EN61010」に適合するテスターおよびヒューズ付きリード棒を使用してください。

リチウムイオンバッテリーの取り外しは高電圧回路の作業を伴うので、短絡による発火、発煙、破裂および感電等の恐れがあります。



・ 高電圧部位を含む作業を示します。



・ 絶縁手袋の着用が必要な作業を示します。必ず絶縁手袋を着用してください。



○: 固定ボルト
□: カプラ

3. カプラ(2ヶ所)および、各端子(4ヶ所)を取り外す。また、外した端子は絶縁処理を行う。



(10) リチウムイオンバッテリーを取り出す



警告

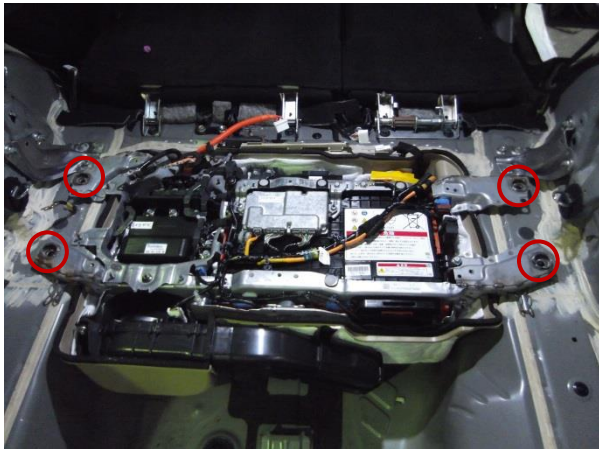
- 規格「EN60900」に適合する絶縁手袋および絶縁工具を使用してください。
リチウムイオンバッテリーの取り外しは高電圧回路の作業を伴うので、短絡による発火、発煙、破裂および感電等の恐れがあります。



- ・ 高電圧部位を含む作業を示します。



- ・ 絶縁手袋の着用が必要な作業を示します。必ず絶縁手袋を着用してください。



1. 車体とリチウムイオンバッテリー本体を固定しているボルト(4ヶ所)を取り外す。



2. リチウムイオンバッテリー本体を車内から取り出す。



警告

- バッテリー本体は約42Kgの重量があるため、必ず2人以上で作業してください。
※ 落下した場合、身体に重大な障害を負う危険性があります。

(11) PCU・IPUカバーを取り付ける



警告

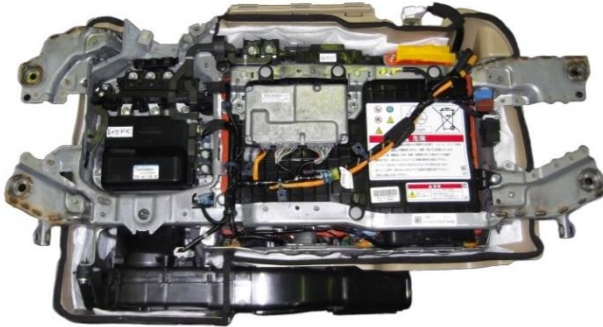
- 規格「EN60900」に適合する絶縁手袋および絶縁工具を使用してください。
リチウムイオンバッテリーの取り外しは高電圧回路の作業を伴うので、短絡による発火、発煙、破裂および感電等の恐れがあります。



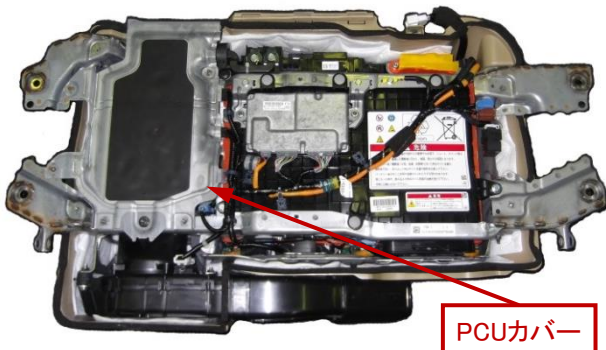
- ・ 高電圧部位を含む作業を示します。



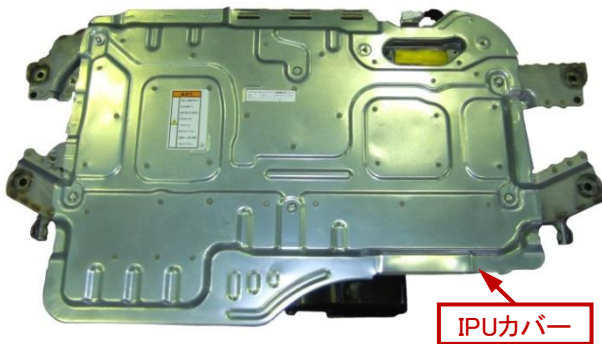
- ・ 絶縁手袋の着用が必要な作業を示します。必ず絶縁手袋を着用してください。



1. 車体から取り外したバッテリーにPCUカバー及びIPUカバーを取り付ける。



- ・ PCUカバーを取付けた状態。



- ・ IPUカバーを取付けた状態。

- 以上で、駆動用バッテリー取り外し作業完了です。
- ※ サービスプラグとメインスイッチカバーは再装着せずに、サービスプラグベースに絶縁テープが貼られていることを確認してください。
 - ※ 取り外したバッテリーの梱包は運送会社にて行います。



警告

- リチウムイオンバッテリーは本書で指示する以上の解体を行わないでください。
リチウムイオンバッテリー内部にある電池セルは電圧を有する場合があるので、本書で指示する(上の写真)以上の解体を行うと、短絡による発火、発煙、破裂および感電等の恐れがあります。

4. フレームNo.の位置

駆動用バッテリー回収マニュアル「リチウムイオン バッテリー共通編」の【駆動用バッテリー引取り依頼票 兼 約款合意書】記入時に必要なフレームNo.は、下記を参考にご記入ください。

■ フレームNo.

運転席右横の床にある確認用リッド内に、型式およびフレームNo.が表示されています。また、助手席側ドアピラーのプレートにも表示されています。前3ケタが型式、後の7ケタ数字がフレームNo.です。

型式 GP7 もしくはGP8がシャトル ハイブリッドとなります。

表示例: GP7 - 100XXXX (7桁の数字) ...2WD

GP8 - 500XXXX (7桁の数字) 510XXXX (7桁の数字) ...4WD



- ・ 運転席横足元フロア



- ・ 助手席側ドアピラー

高電圧注意標示

担当

！ 触るな！

作 業 中

高 電 圧 



高 電 圧

作 業 中

触るな！

担当 _____

拡大コピーをとり、よく見える場所に貼るなどしてご活用ください。